

そこが知りたい! なるほどうちな〜ニュース

日本復帰から48年

「ヤマト世、始まり 暮らしが一変



うちな〜に詳しいコメンテーターとりゅうちゃんがニュースを分かりやすく紹介する「そこが知りたい! なるほどうちな〜ニュース」。今回のテーマは「日本復帰から48年」です。悲惨な沖縄戦の後、アメリカが沖縄を統治する「アメリカ世」が1945年から27年間も続きました。1972年5月15日に沖縄は日本へ復帰。アメリカ世の次は「ヤマト世」がやってきて、沖縄の人々の生活は大きく変わりました。沖縄の世替わりの様子を、歴史に詳しい石がんと一さんに解説してもらいます。



沖縄復帰記念式典であいさつする屋良朝苗県知事＝1972年5月15日、那覇市民会館

世替わりクイズ

石敢

1 沖縄が日本に復帰した頃の写真だよ。今の私たちの生活と違うところがあるよ。分かるかな?

2

(2面に続く)



道路標示の切り替え作業の様子を一目見ようと集まる見物客たち＝1978年7月29日、那覇市のむつみ橋交差点

けんみん けんめい こんらん いぬ 県民、懸命に混乱生き抜く

1面の世替わりクイズ、難しかったりゅう。石がんと一さん、答えを教えてください！

石 よし、写真①をよく見ておくれ。女性が数えているお金の注目じゃ。これはアメリカのドル紙幣なんだ。沖縄戦の後、焼け野原になった沖縄はアメリカの支配下におかれる。日本のお金が使えなくなり、1948年に緊急策として「B型軍票（B円）」という通貨が使われたんじゃ。52年にサンフランシスコ講和条約が発効して沖縄は日本から切り離され、アメリカの支配が続いた。58年にはB円から米ドルに替わり、72年の復帰まで使われた。戦後27年間はアメリカのお金を使い、復帰後はまた日本のお金に戻ったんじゃよ。

1通貨が何度も変わるなんて、当時の沖縄の人たちは大変だったろうな～。

石 ドルから円への通貨切り替えの時には「便乗値上げ」が横行して物価が上がり、人々の暮らしは混乱した。特に肉の値段が上がって困ったそうだよ。初めて日本の硬貨を見た子どもたちは「お金に穴があいてる」「1円玉は薄くて軽くておもちゃみたい」と不思議な感覚を抱いたそうじゃよ。

1復帰後、通貨の他にも何か変わったことはあるのかな？

石 復帰前、沖縄はアメリカが決めた制度やルールで治められていたんじゃ。通貨だけでなく、交通方法もアメリカと同じだったんじゃよ。世替わりクイズの写真②を見てほしい。車が右側を走っているじゃろう。気がついたかな？

1わ～、本当だ！ 違和感ある風景だりゅう。今は車は左側走行だよ。交通方法はいつ変わったの？

石 復帰から6年後の1978年7月30日に、アメリカ式の右側走行から日本の左側走行に交通方法が変わったんじゃ。変更した月日から「ナナサンマル（7・30）」と呼ばれている。復帰後、あらゆる制度が日本と同じになったんだが、交通事故への不安から、交通ルールはなかなか変わらなかったんじゃ。

1交通方法が変わった後、実際に事故は起こったの？

石 変更の時には約4千人以上の警察官が交通整理など指導にあたったそうだが、各地で交通事故が多発したんじゃ。復帰前まで左ハンドルだった路線バスは右ハンドルになり、左側走行の慣れない運転でバスが横転する事故も起こった。8月6日までの8日間で約560件も交通事故が起きた。

1なんてこった。大混乱の世替わりだったんだね。

石 そうじゃな。沖縄の人々は「アメリカ世、から「ヤマト世、へと変わる混乱の時代を懸命に生き抜いてきたといえる。軍事優先のアメリカ世では、米軍による事件・事故が起こっても犯人が無罪になるなど、人権が踏みにじられていた。沖縄の人々はこれに反発し、基本的人権の尊重や恒久平和をうたう日本国憲法の下への復帰を自指したんじゃ。日米両政府の政策に翻弄されながらも、命や尊厳を守るために行動して未来を切り開いてきた沖縄の人々をわしは誇りに思うぞ。

1日本復帰から48年迎える今も、沖縄では米軍による事件・事故や米軍機の墜落などが起こってりゅうね。激動の戦後を生きた沖縄の人々の歴史をしっかりと学んで、未来への道しるべにしたいです！

戦後、日本復帰までのあゆみ

1941年	アジア・太平洋戦争始まる
45年6月22日	沖縄戦で日本軍の組織的抵抗が終わる(23日説も)
8月15日	日本の敗戦
9月7日	第32軍が沖縄(南西諸島)の降伏文書調印
48年	通貨がB型軍票(B円)になる(写真)
50年	琉球列島米国民政府(USCAR)の統治始まる
52年4月1日	琉球政府の創設
4月28日	サンフランシスコ講和条約の発効。沖縄が日本から分離(「屈辱の日」)
53年4月3日	USCARが「土地収用令」を公布。「銃剣とブルドーザー」による土地収用が本格化
12月25日	奄美群島の返還
56年	軍用地の新規収用、土地代の一括払いを認める「プライス勧告」に反対する島ぐるみの土地闘争へ
58年	通貨がB円からドルに切り替わる
59年6月30日	宮森小に米軍ジェット機墜落(写真)
60年4月28日	沖縄県祖国復帰協議会が結成
63年2月28日	中学生が米軍車両にひかれ死亡。米兵は無罪(国場若れき殺事件)
65年	イリオモテヤマネコ発見
68年11月10日	初の公選主席選挙で屋良朝苗さんが当選
69年11月	佐藤・ニクソン会談で72年返還が決まる
70年12月20日	コザ市(現沖縄市)でコザ騒動が起こる
71年	米軍基地の毒ガスが移送される
72年5月15日	沖縄が日本に復帰。通貨が円に切り替わる(写真は復帰記念のメダル)
75年	沖縄国際海洋博覧会が開催される
78年7月30日	車両通行が右側から左側に(ナナサンマル)
2020年5月15日	日本復帰から48年



★琉球列島米国民政府による沖縄統治 沖縄戦後に沖縄を支配していた米軍政府に代わり、1950年に「琉球

列島米国民政府」が設置された。USCAR(ユースカー)とも呼ばれた。52年に沖縄住民側の政府である「琉球政府」が発足したが、米国民政府の命令に従うことが定められていた。

登場するのは 石がんと一さん

政治や歴史などの話題に強い硬派なおやじ。真面目でウチナー愛が強く、涙もろい。年齢不詳。音楽を愛し、いつも三線を携えている。

